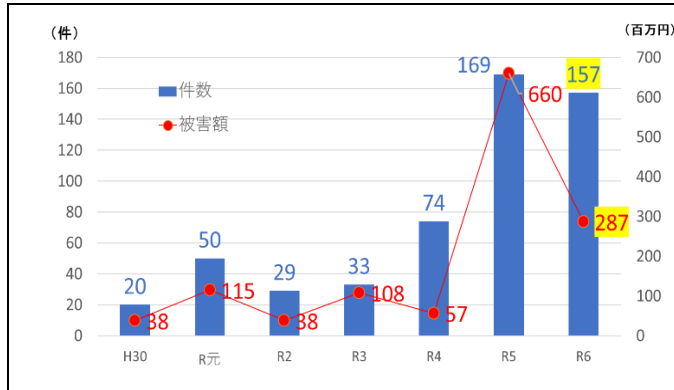


ニセ電話詐欺の分析資料（令和 6 年中）

1 ニセ電話詐欺全体の現状

○ ニセ電話詐欺認知件数 157 件（前年比-12 件）



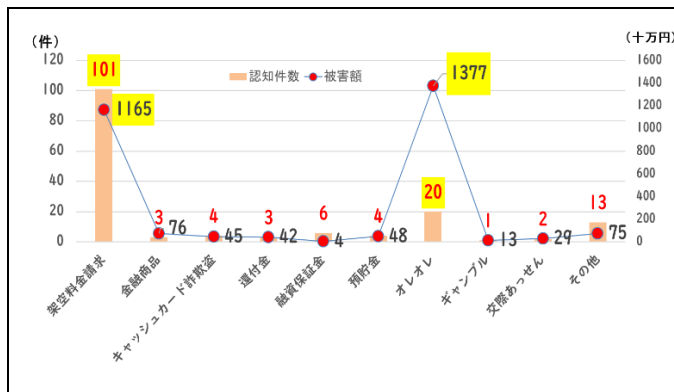
【特徴】

- ・認知件数は、R6 年中 157 件で、昨年より 12 件少ない
(統計方法の変更による減少)
- ・被害額も、同じ理由により大幅に減少
- ・それでも被害総額は 2 億 8,764 万円

【課題】

- ・ニセ電話詐欺被害の現状を周知するための広報が必要

2 類型別の認知件数と被害額



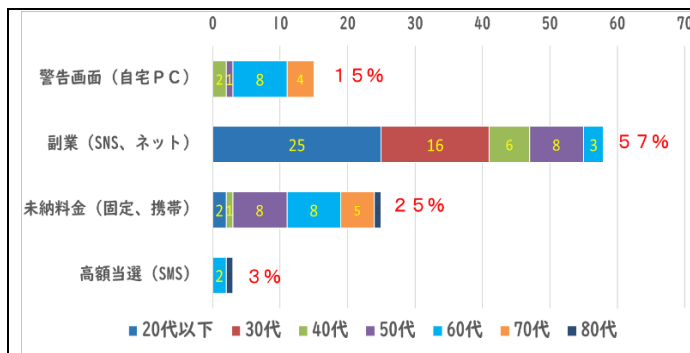
【特徴】

- ・認知件数が最も多いのは、架空料金請求詐欺の 101 件であるが、被害額はオレオレ詐欺が 1 億 3,771 万円と最も多い。
- ・1 件当たりの被害額も、オレオレ詐欺が多い。

【課題】

- ・架空料金請求詐欺、オレオレ詐欺対策が必要

3 架空請求詐欺における被害の年代と端緒



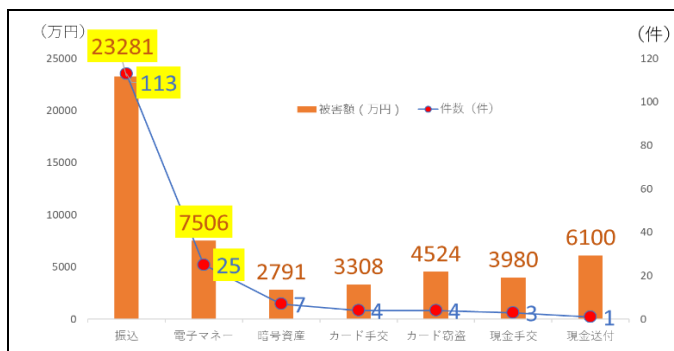
【特徴】

- ・副業名目の詐欺が 57.4% と多く、30 歳代以下の被害が多い。
- ・警告画面や未納料金、高額当選名目の詐欺は 60 代以上の年代での被害が多い。

【課題】

- ・若い世代、現役世代、シニア世代に対する個別の広報が必要

4 交付形態別の分析



【特徴】

- ・振込と電子マネーを利用した支払い形態がほとんど

【課題】

- ・被害の大きいネットバンキング、電子マネーの対策が必要
- ・金融機関、コンビニエンスストアによる水際対策の推進